



(組合員の購読料は  
組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5  
交通ビル

国労東日本本部  
発行責任者 大沼 元  
編集責任者 常盤達雄

No. 825 定価  
20円

2019年

12月15日

1人で悩まず  
国労へ相談。  
みんなが楽しく  
がんばろう！



QRコードから  
でも閲覧できます  
<http://www.e-nru.com/>

## 国労東北協議会

### 労働講座・交流会を開催 平成採用組合員を交えて交流

国労東北協議会(仙台・盛岡・秋田地本で構成)

は一月二三日に、盛岡国労会館において、国労東北労働講座・平成組合採用組合員交流会を開催した。

社友会・労働組合の違いについて」の講演がされた。労基法の説明や労働組合の役割、団結権など労働基本権のしくみ・権利、36協定についてなど多岐に渡る説明がされた。

続く交流会では、沢田議長から「分割・民営化の時に最初に行われたのが、現場協議制の廃止だった。次

はじめに労働講座として、村上一也弁護士(東京共同法律事務所)から「社員代表者の役割と、

小檜山さんから「郡山駅における五名の加入に負けないように説明会を開いた。加入には至らなかったが自

に伊豆大川へ組休十年休で学習に行っていたのが、組休を認めなくなった。労働者教育を権力者は嫌った。今日の交流を通して情報共有し、学びあった事を現場で運動に生かしてほしい」などの主催者あいさつがされ、東日本本部・武田組織部長と、東日本本部・木村青年部書記長からそれぞれ報告がされた。組織拡大に向けた活動報告として、郡山設備分会・

また、工場内の各種機器についても、組合からの要望・提案で、集塵機を設置したり楽に作業ができるような様々な機器を導入しているところを見せていただいた。視察終了後は、横浜・中華街に移動して昼食をとりながら、同じJESS社員どうし、自己紹介をしながら職場の話も交えて交流を深め合った。

## JESS社員交流会 相鉄車両基地を見学

東日本本部は、一月二日(土)にJR東日本ステーションサービス労働組合(JESSIU)と共催で、JESS社員視察・交流会を開催した。

今回の視察は、相模鉄道労働組合の協力を得て、JRと直通運転が目前に迫った相模鉄道のかしわ台車両センターを視察・見学した。

車両センターでは、所長からもあいさつをいただき、視察では分会長に車両センター内を回りながら説明をしていただいた。

また、JRへ直通する12000系の説明をしていただき、仕様を極力埼京線E233系7000番台と合わせ、一部は最新のE235系のものを取り入れ、



視察終了後は、横浜・中華街に移動して昼食をとりながら、同じJESS社員どうし、自己紹介をしながら職場の話も交えて交流を深め合った。



信がついた。その後分会というより、電力職場全体での関わりから、今後諸先輩がいなくなった時に職場が困るだろうと佐藤さんが加入。佐藤さんの回りに若手を集めるように取り組んでいる」と報告があり、盛岡地本・及川執行委員からは盛岡地本における取り組みの報告、東北貨物協・石戸谷副議長からも新人事賃金制度や、低賃金で働かせられている東北ロジステイクスの問題など、多

くの仲間から報告がされた。平成採用者からの報告では、小牛田運輸区・三浦さんから「現場では管理者にものを言える先輩がいる。突っぱねるだけではなく、落としどころも考えている。まずは自分の仕事をきっちりやりたい」、Livit仙台駅・猿渡さんからは「仕事で困っている事はみんな一緒。国労の先輩に言う」と相談に乗ってくれる。女性の組合員も増える

いいなと思ひ、先輩にも話している。本体と同じ仕事をしているのに一時金が少ない。組合員を増やして会社と話をしたい」などの報告がされた。集会の最後に、幹事の仙台地本・原子書記長から「報告で共通しているのは、組織拡大に頑張っていること。意思統一を各地方でももらい、国労運動の継承の為に、労働条件改善の為に頑張っていこう」などのまとめがあり、集会は終了した。

## 委員長・書記長会議 秋季闘争勝利へ意思統一を図る!

東日本本部は、一月七日に東京地本会議室において、各地方本部委員長・書記長会議を開催し、年末一時金満額獲得へ向けた秋季闘争や、組織拡大へ向けた取り組みの強化、台風や大雨被害の情

その後、伊藤書記長から台風被害の現状、秋季闘争の取り組み、協約改定・労働条件改善への取り組み、組織強化・拡大に向けた取り組み、当面する行動など、多岐に渡る全体での意思統一がされた。



報共有化・意思統一を行った。最初に大沼委員長から「組合員から台風被害の報告はあったが、ケガの報告は無かった。まずは本部が提起している義援金カンパに取り組みしてほしい。東日本本部もいわき地区で救援活動を行った。今後、春闘や組織拡大へ各地方も全力を挙げたい」などのあいさつがされた。

# 東日本電気協議会 定期委員会を開催

## 事故を再発させない！ 技術者育成を求めよう！

国労東日本電気協議会は、一月一六日に東京地本会議室において、第三二回定期委員会を開催した。

委員会のはじめに、大角議長は「電気部門の変革2022が一月に提案され、在来線・新幹線・エネルギー管理の三つに分けて交渉を進めてきた。籠原事故のような、会社施策の不備から起きた事故を再発させないよう、点検を確実にいく。繰り返し発生している事象が増加傾向にある。技術継承がままならない現状で、感電など人為的被害が出ることを予測される。会社に技術者育成を真剣に求めていく」などの主催者あいさつを行った。また、来賓の東日本本部・渡辺副委員長、全国電協・菊島事務長からそれぞれあいさつがされた。

経過報告・方針提案のあと、各代議員からの発言があり「秋田MCは、三つのMCが一つにされ、二二名から一三名になった。緊急点検にTEMSは行かないので直轄対応。工事立ち

合いも三MCぶん行くので夜勤も多い。平成採用者として、四年後が不安(秋田)」、「電力では本務エルダーが六人。エルダーの行き先が一ヶ月前提示では生活設計ができない。移管MCは一名でやっていた事を六名でやっている(盛岡)」、「電線交差箇所断線事故で、施行時のチェックが行われていない。保全巡回も線路外から見ただけ。電力軌陸車運転には中型免許が必要。会社は限定解除取得を受けさせているが、AT限定の人は、時間・費用を個人負担させられている(八王子)」、「踏切バックアップ調査を行っているが、要員が足りない。団交では会社は足りていると言いが、実際には技セからも来ても

らって行っている。品川の線路切り替えに多くの人が行っている。最後に必要なのは人だ(新潟)」など多くの報告がされた。最後に大角議長(再選)・加藤事務長(再選)などを選出し、議長集約で組織拡大、要求集約・交渉、エルダー問題など、これからも全力を挙げていこうと集約され、委員会は終了した。



# 東日本運輸協議会 定期委員会を開催

## 利用者ニーズに合った施策を！ 労働条件改善！組織拡大に全力を！

国労東日本運輸協議会は、一月一五日に南部労政会館において、第三二回定期委員会を開催した。

委員会は石塚副議長の司会で始まり、委員会議長には滝口委員(神奈川県地区本部)が選出された。主催者あいさつで三留議長は「災害が多発している。災害が発生したことで、職場の問題点が見えてきた事もあり、そこから、職場での要求や協議でいい方に動いた事もあった。組合つづきが進み、いろんな施策が進む。今日の議論を地方に持ち帰って、向上に役立ててほしい」などのあいさつを行った。

来賓あいさつでは、東日本本部・常盤教宣部長が、今回の災害の被害や今後の課題、秋末年末闘争の経過、組織強化・拡大に向けた取り組みなどについてあいさつを行った。



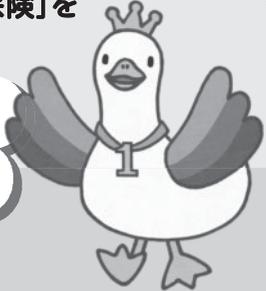
「駅の委託、窓口廃止、びゅうプラザの廃止。利用者のニーズに合った施策ではない。常磐線の不通区間の試運転が二月から始まるが、放射線の問題が依然としてある。イノシシが繁殖していて衝突事故が頻繁に発生している。JESS荒川沖駅では、終電後に駅内を点検して支店に終了報告しているが、一時三〇分から休憩なのに、一時三〇

分に電話している。おかしいと思いつ、一時二五分報告に変更させた」、千葉・太田委員からは「台風時、停電で情報が全く入らず、一日には電車が動き出したとの誤報で利用者に詰め寄せられた。二一号の時は誉田駅で停車した列車で三〇〇人が夜明かしをし、乾パンなど災害用品を配布した」、新潟・羽豆委員からは「日勤駅なので、台風など混乱

時に出勤しても運転状況など全く分からない中で仕事をせざるをえない。豪雪時の対策で大型の除雪機を数か所に配備したが、使用時に運搬してもらった業者が決まらない」、高崎・近藤委員からは「以前大雪の時に、出勤や自宅待機などの指示がまちまちだったり、指示無しだった時があり、その際に団交を行った。今回の災害では前泊・タクシー・レンタカーなどスムーズに指示がされた」など、職場での取り組みや今回の災害時についての報告が多く寄せられた。

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

NEW/ **生きるためのがん保険** Days 1



アフラックは **No.1** がん保険 契約件数

NEW/ **生きるためのがん保険** Days 1

NEW/ **生きるためのがん保険** Days 1

すでにアフラックのがん保険にご契約の皆さまに

アベニール株式会社  
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

アフラック **Affac**

アフラック 東京第二法人営業部  
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル19F  
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658